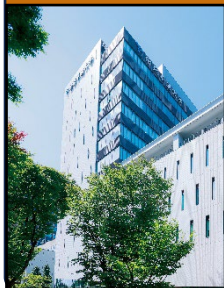


地域住民に対する薬育を推進するための研究



【中野キャンパス】薬学部 薬学科 助教

原田 美那 Harada Mina

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 薬育・くすり教育・健康教育・薬学教育・地域医療



研究の概要

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

現在、薬剤師は、地域住民の疾病予防や啓発活動に貢献することが求められている。薬学教育においても「住民・児童生徒に向けた保健知識の普及指導・啓発活動を実践して、住民・児童生徒の公衆衛生意識を向上し、生活環境の向上に積極的に寄与する。」と令和4年度改訂版薬学教育モデルコアカリキュラムに明記されている。

本学では薬学部の学生を中心に、部活動の一環として、「薬育」をおこなっている。「薬育」とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止、フレイル予防など健康な身体をつくるための教育活動と定義している。

これまで薬剤師がおこなうくすり教育や薬物乱用防止教室の効果等について検証した研究は多くあるが、薬学生が実施した薬育に関する研究は少ない。そこで、薬育の経験が薬学生や地域住民にどのような影響があるのか、また保健知識の普及指導・啓発活動ができる薬剤師を養成するためにどのようなプログラムが必要か検討する。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

本研究は地域住民の薬を含めた健康意識の向上、健康行動の実践、将来的には健康寿命の延長、医療費の削減に繋がる可能性が期待できる。また、保健知識の普及指導・啓発活動など健康サポートを積極的におこなうことができる薬剤師の養成に繋がる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【学会発表】

- ・「地域に貢献する薬剤師を養成するための取り組み—薬学生による薬育教育の実践—202109」
- ・「将来の薬剤師がプライマリケアを行うための薬育教育—薬学生による中学校保健体育の授業での薬育の実施—202208」
- ・「薬学生が地域住民に対して「薬育」を行うことによる教育効果」